

審議した主な議案

令和6年度一般会計 補正予算(第6回)

予算の概要は1面に掲載しています。

反対討論(要旨)

高木章成(子どもの権利)

子どもの権利を守る会を代表して、令和6年度一般会計補正予算(第6回)への反対討論を行う。令和4年11月27日に白井市長が就任し2年余りが経ち、1期目の任期の折り返し点を越えたが、この2年余りに提出された予算から独自の政策意思は読み取れない。本補正予算の議決で新庁舎建設はターニングポイントとなるが、見直し案を踏まえてコストダウンを行うべきだ。また、コンビニ各種証明書交付手数料10円の根拠は示されていない。よって反対する。

賛成討論(要旨)

五十嵐京子(自民党・信頼)

庁舎等建設工事費の債務負担行為補正に関して、今後の市政運営においては、市民生活に影響を及ぼさないよう努力をお願いしたい。第一小学校の校舎建て替え、学校給食の無償化、コンビニ交付取扱手数料減額施策事業、保存文書削減のための内部情報複合機等導入事業、地域公共交通計画に関する費用、学童保育に関する費用など市民生活に密着する課題のための補正予算であり、課題解決のためにしっかりと市政運営に当たっていただきたいと要望する。

賛成討論(要旨)

沖浦あつし(みらい)

庁舎・(仮称)新福祉会館建

設事業が令和3年11月に事実上中断する際にも、中断は市民のためにならないと主張した。結果、3年の時間と建設工事費急騰が生じた。これ以上、庁舎問題で立ち止まれば、市政まじづくりの停滞を免れない。我々の任期中に道筋をつけるべきである。また、市立小中学校給食費無償化や運行事業者のCO2削減パス2路線撤退の申入れに端を発した交通ネットワーク再編事業等、市民生活に直結する重要政策を含む本予算に賛成する。

賛成討論(要旨)

小林正樹(公明党)

市立小中学校給食費補助については、東京都の実質8分の7の補助(毎年約5億円)が決まり、小金井市でも実施の決断をされたことに感謝申し上げる。新庁舎・(仮称)新福祉会館建設工事費について、今後、一般会計への負担を減らす財政運営や地域貢献策やネーミングライツ、福祉会館部分の利用方法の検討再開、時代に合ったDXの推進、シャトルバスや北側交差点の問題を含めた課題解決等、4年後の供用開始に合わせて準備を進めることを強く要望する。

賛成討論(要旨)

水谷たかこ(こがおも)

最大の理由は、新庁舎等建設事業だ。跡地活用を含む公共施設の再配置等も動き出すことができ、まちづくりが前に進む。こがおもが提案してきたコンビニ交付手数料10円キャンペーンは利用経験がない市民への動機付けとなり、繁忙期の窓口業務改善が期待できるとともにフ

ロントヤード改革にも資する。他にも学校給食無償化、児童生徒数増加への環境整備や学童保育育成室整備、保育園の運営補助金、都市計画道路や公共交通等の重要事業があり賛成する。

賛成討論(要旨)

安田けいこ(生活者ネット)

市民福祉の増進に関わる重要な予算のため賛成する。新庁舎等建設は市民の理解が深まるよう広報の充実を望む。本来国において無償化すべき学校給食については、物価高騰でも質を落とさない創意工夫に感謝する。本市で予防接種健康被害が確認されたHPVワクチン接種は積極的勧奨を取り止めるべき。副反応の指定医療機関受診者が増えている。デメリットについての注意喚起と学校教職員への周知を強く要望する。

市役所庁舎変更に関する条例の一部を改正する条例

条例の概要は1面に掲載しています。

賛成討論(要旨)

渡辺大三(子どもの権利)

2008年、市民団体が庁舎建設場所を、庁舎建設予定地とするか、南口再開発の第二地区とするか、住民投票で決するべきとして直接請求署名運動を展開。私も署名運動に参加。署名は1万人を超え成立したが、市議会は1票差で否決。市民検討委員会は、1万人意向調査を実施。庁舎建設予定地に建てるべきとした市民が62%、南口第二地区再開発ビル庁舎とすべきとした市民が10%、圧倒的大差で庁舎建設予定地が市民に支持された。

市議会議員定数条例の一部を改正する条例(議員提案)

9月26日の本会議において、議会運営委員会(岸田正義委員長)に付託し、11月21日及び29日の委員会で審査を行いました。

賛成討論(要旨)

本条例は、多摩26市中、人口11万人台から12万人台の類似3団体では議員定数が全て22人であることや市民アンケート及び公聴会などで市民意向を確認していること、現在1人欠員であることなどを踏まえ、議員定数を24人から23人とし、1人削減することを議員が提案したものです。

11月29日の委員会では、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。12月5日の本会議では、起立採決の結果、否決しました。

賛成討論(要旨)

河野麻美(自民党・信頼)

人口や面積、財政規模が類似する市は、既に22名に削減している。今任期は1名欠員で運営してきた実績もあり、議会の合意形成を図るため、1減の23名で提案した。議会基本条例第21条に則り公聴会を開催し、市民アンケートも実施した。定数が多いと感じる市民は26.2%、適当16.7%、少ない0%という結果であり、12万人の市民と未来を担う世代のために良いまちをつくる努力は、行政だけでなく議会も多様な市民の声を聴き、真摯に取り組みべきである。

反対討論(要旨)

村山ひでき(みらい)

市民の声をもとに1人の議員だけが主張する政策テーマがある。議員削減は、広く市民の意見を拾い上げる芽を摘んでしま

う可能性があり、行政に対するチェック機能の弱体化にもつながる。多様な議員で構成される市議会が望ましい。市民は、議会に對して「議員定数・報酬の検討」よりも、「市民の声が反映できること」や「行政への提案」、「チェック機能」を、より望んでいるという2022年9月上旬に実施された市民アンケートの結果を受け止めるべき。

賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

提案理由のとおり、現在、多摩26市中、小金井市を除く人口11~12万人台の類似3市(昭島市、国分寺市、東久留米市)の全てが議員定数22人であり、小金井市議会だけが24人と突出している。これまで2減を提案してきたが、今回は削減に慎重な議員の意見も加味し、現状1人欠員であることから、大きな変化を伴わない1減を提案した。議会だけを聖域化することなく、一人ひとりが精鋭化し、より一層市民の皆様のお役に立てるよう努めていかななくてはならない。

賛成討論(要旨)

清水がく(街の仲間たち)

議員定数の削減は議会改革において有用な手段であることは申し上げる。しかし、本議員案は議会の「量」のみの提案であり、「質」の部分については全く提案されていない。「量」のみの効率化では、本来の議会改革とは言えない。議員定数、報酬深夜にまで及ぶ審査にかかる時間数、同じ内容の質問が繰り返される状況等を含めた、「質」と「量」の議会改革について集中して議論し、そして、期限を設け、求められる議会改革の結果を出していこうではないか。

「違法な専決処分に基づいて制定された廃止条例は無効」との東京地裁判決をふまえ、公立保育園の安定的運営を求める陳情書

賛成討論(要旨)

片山かおる(子どもの権利)

現在は違法な行政。行政法学者などからの法律意見書に対して、市は法的エビデンスを示した答弁をしていない。たった1人だけ入園を許可された原告のお子さんの保育が課題。小金井市子どもの権利条例にも背き、子どもの最善の利益にも反する。適切な規模での募集再開を行い違法な行政運営を正すべき。その上で公立保育園の在り方の検討を進めないと真つ当な検討ができない。これまでの経緯を資料で委員に示し、審議に臨んでいたことは当然のことである。

賛成討論(要旨)

森戸よう子(日本共産党)

廃園に向けた段階的縮小をやめ、保護者の切実な願いに応え、0歳児・1歳児の募集再開を求めることは、判決結果からも当然である。行政法等に造詣が深い

い専門家からも法律による行政の原理のつとより、募集すべきであるとの見解が示された。また、子どもと保護者の人権が著しく阻害されており、1日も早い、是正が求められている。公立保育園5園の保護者から再三再四、再開募集を求められているが、手を打たない市長の市民軽視の姿勢は問題である。

学校給食費の無償化を求める陳情書

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

学校給食費の無償化は市民や保護者の切実な願いであり、その実現が必要である。署名総数は2千9筆となった。日本共産党は学校給食費の無償化及び負担軽減・値上げ中止などを、何年も前から議会及び委員会での質疑や一般質問で取り上げながら求め続けてきた。予算の組替え動議、条例提案なども繰り返して行ってきた。2017年から市議会でも条例提案を3回、都議会議員とともに質問や申入れなど10回以上要求してきた。実現して良かった。

任期満了に伴う
小金井市議会議員選挙

令和7年3月23日(日)

投票開票
(3月16日告示)

投票に行こう!!



各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(体調不良) 議：議長(原則、採決には加わらず) 副：副議長(議長が体調不良のため、副議長が議長の職務を代行)													議決結果												
		自	み		子		共	公	お	参	ネ	緑	街	付託先													
付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 議：議会運営委員会 予：予算特別委員会 庁：庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会		河野麻美	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく	付託先	議決結果	
賛否が分かれたもの																											
令和6年度小金井市一般会計補正予算(第6回)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予	原案可決
小金井市手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総	原案可決
小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例(議員提案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	否決
全会一致となったもの																											
専決処分の報告及び承認について(令和6年度小金井市一般会計補正予算(第5回))																								即	承認		
小金井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例																								厚	原案可決		
小金井市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例																								建	原案可決		
小金井市民交流センターの指定管理者の指定について																								総	可決		
小金井市総合体育館及び小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者の指定について																								厚	可決		
小金井市役所庁舎変更に関する条例の一部を改正する条例 ※議長を含む出席議員の3分の2以上の賛成が必要																								庁	原案可決		
【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井		み：みらいのこがねい				子：子どもの権利を守る会				共：日本共産党小金井市議団				公：小金井市議会公明党				お：小金井をおもしろくする会				街：街の仲間たち					

請願・陳情の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(体調不良) 議：議長(原則、採決には加わらず) 副：副議長(議長が体調不良のため、副議長が議長の職務を代行)													議決結果											
		自	み		子		共	公	お	参	ネ	緑	街	付託先												
付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 議：議会運営委員会 庁：庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会		河野麻美	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく	付託先	議決結果
件名	要旨																									
学校給食費の無償化を求める陳情書	子どもの成長と発達を保障する上で重要な役割を持つ学校給食について、国及び都に対し財政措置を、市に対し学校給食費を無料にすることなどを市議会が関係各機関に働きかけることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	副	×	×	-	×	○	○	○	×	厚	不採択
「違法な専決処分に基いて制定された廃止条例は無効」との東京地裁判決をふまえ、公立保育園の安定的運営を求める陳情書	東京地裁の「前市長の専決処分による廃園条例は違法であり無効」という判決に伴い、廃園に向けた段階的縮小を止め、0歳児・1歳児の募集再開及び改正前の条例を前提とした在り方検討委員会を開催することなどを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	○	×	×	厚	不採択	
(仮称)町会・自治会活性化推進条例の制定等を求める陳情書	(仮称)町会・自治会活性化推進条例の制定に向け、学識経験者や当事者を構成員とした策定委員会の設置のための措置及び事務負担軽減のための技術支援や補助制度の拡充を求める。	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択	
市議会の常任委員会の所掌範囲の再配分を求める陳情書	審査時間が夜間、深夜帯に及び厚生文教委員会で、深夜議会防止の観点から新たな常任委員会の設置や所掌範囲の変更等、今任期中に改善案を決めることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	×	議	不採択		
小金井市議会の議員定数の削減を推進する旨の決議を求める陳情書	他自治体との比較では多いと指摘される議員定数の削減が必要である。削減に向けた方向性が多数意思であることの確認のため、削減推進の決議を可決することを求める。	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	議	×	△	×	×	議	不採択		
新議場について、机や設備を可動式にし、議会利用がない日には多目的な市民利用ができるようにすることを求める陳情書	新庁舎等建設に関して、議場の議会利用のない日に市民利用を可能にするため、現行案の固定式の設備を可動式にすることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	不採択		
恣意的に運用されている小金井市のHP作業に秩序をもたらすことを求める陳情書	現在、市ホームページの掲載期間は定めがなく、現場の判断である。しかし、市長の関心や職員のガバナンス等に疑念を招きかねないため、掲載期間の設定に対し、根拠を定め、それに基づいた執行をすることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	総	不採択		
主催者なのに業務の情報を持ち合わせていない教育委員会の怠業を改善すべしとする陳情書	教育委員会は主催するイベントの情報を持っていなかった。主催者である限り「主催者に聞いたらわかる」ことが大原則であり、早急に情報の開示を行うこと、また、業務の改善を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	△	△	副	×	×	-	×	×	○	×	厚	不採択		
審議会における意見・提案シートの導入を確実にすることを求める陳情書	審議会において意見・提案シートの活用、導入を検討するよう担当課から要請されているが、採用されていない審議会がある。については全ての審議会です早急に意見・提案シートを導入することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	△	△	△	×	×	議	×	○	○	×	総	不採択			
涼み処事業の時間帯や施設指定において市民の生存権を守るという視点で取り組むことを求める陳情書	本市における涼み処は開放時間やスペースなどの課題が多い。涼み処の事業展開は市民の生存権に関わるものであることから、要望も踏まえ一層の充実を図ることを求める。	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	副	×	×	-	×	×	×	厚	不採択			
市の課税ミスにより税金を取られすぎた被害者の完全な救済を求める陳情書	市の課税ミス事案については、現在の処理スキームを見直し、国家賠償法または地方自治法第232条の2を適用した返還を検討し、被害者の完全な救済を図ることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	総	不採択			
財政的に十分成り立つそうなので、学校給食の無償化を求める陳情書	財政的に十分成り立つのであれば、市民サービスの充実、子育て世帯の家計支援の観点から、市立小中学校に通う全ての児童・生徒の給食を無償にすること、市長のこれまでの答弁の齟齬について説明を求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	×	厚	不採択			
「暖か処」(仮称)についての検討を求める陳情書	冷暖房による電気料金に苦勞される市民は一定数いる。冬日に暖かいところに避難できる公共的なものとして「暖か処」(仮称)の提供を求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	×	厚	不採択				
「主催」に関する規定を設けることを求める陳情書	市の要綱に後援、共催、協賛、推薦はあるが主催はないので、主催について社会の常識と認識の差が生じないように定義を定め、要綱に追加または新設することを求める。	×	△	△	×	×	×	×	×	○	○	×	△	△	△	×	議	×	○	×	総	不採択				
市民体育祭ゴルフ競技における応募者募集方法の改善を求める陳情書	市民体育祭ゴルフ競技の参加者の募集方法について、メールでの先着順申込みを止め、抽選等のできるだけ公平な募集を心掛けるよう求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	副	×	×	-	△	×	○	×	厚	不採択				
市立保育園2園廃園に関して供託した10万4500円について求償権を發動することを求める陳情書	市立保育園2園の廃園条例の専決処分は違法、条例は無効という判決があった。その判決に伴う被害者への損害賠償金の求償権を發動させるため、必要な措置を求める。	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	厚	不採択				
小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行った反対討論等に関する陳情書の訂正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	副	○	○	-	○	○	○	即	承認			
【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井		み：みらいのこがねい				子：子どもの権利を守る会				共：日本共産党小金井市議団				公：小金井市議会公明党				お：小金井をおもしろくする会				街：街の仲間たち				

日曜議会を開催しました

平日に傍聴に来られない方にも議会の様子を知っていただくため、12月1日に日曜議会を開催しました。

当日は、各議員がおおむね15分以内もしくは20分以内で、市政の運営や方針などについての質問や政策提案を行い、市の見解を求めました。

一般質問

(4面～6面) 12月1日、3日、4日、5日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
 <2次元コードについて>
 スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。上側:12月1日(日曜議会) 下側:12月3日、4日、5日

会派の略称	(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こがおも)	小金井をおもしろくする会
	(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
	(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
	(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
	(公明党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

「市」民の「役」にたつ「所」の職場環境とは

村山ひでき (みらい)

(ア)業務ミスの再発防止のため、庁内で事例を共有するシステムを作らないか。
 (イ)更なる接遇改善のための取組は。(ウ)全職員が育児休業を取得しやすい職場環境整備を。特に男性職員の育児取得の促進に取り組むべき。(エ)避難所運営要員として重要な存在である学校用務員の正規職員補充を求めが現状は。(オ)町会・自治会の活動を支援する地域担当職員制度で市職員の地域参画を考えないか。

部長 (ア)令和元年に設置したコンプライアンス推進委員会です。共有している。毎年11月は接遇向上月間。

被災時大問題になるトイレへの対応

吹春やすたか (自民党・信頼)

市は防災対策を多岐に渡り取り掛かっており、進捗具合もそれぞれであると判断するが、災害発生時のトイレに関する質問を行う。

(ア)被災時一番考えないといけないのはトイレ問題である。各町会等も仮設トイレ等を準備しているが、仮設トイレは尿が溜まる構造である。自主防災組織や町会などの仮設トイレに溜まった尿の処理方法は、現状では周知徹底がなされていないのではないかと。新しい仕組みを考えないといけないのではないかと。(イ)以前からトイレトレーラーの話をしているが高価である。

財源が豊富な行政であれば導入可能だが、運転に牽引免許も必要である。軽トラのトイレカーならば、1台60万円から70万円を導入でき、トイレトレーラーと違い普通免許で運転ができる。導入を検討しないか。

部長 (ア)組立型トイレの尿搬出は清掃会社との災害時協定、処理については東京都水再生センターへの尿受入れに関する覚書を締結している。自主防災組織などへは適宜助言していきたい。(イ)トイレカーは尿処理施設への自走が可能であり、普通免許で運転できる利点もある。研究課題としたい。

学童保育大規模化対策と受動喫煙防止対策を問う

岸田正義 (みらい)

①学童保育の大規模化対策を12年前から訴えてきた。(ア)5年後の利用見込みは。(イ)学童保育は単なる居場所ではなく生活の場であり、運営基準にある保育の質を大事に5年後の未来像を示した上で2年後までに抜本的対策を示すべき。(ウ)学校施設を共有するシェアスクールの取組を加速するべき。

部長 (ア)平均利用数500名、普通教室10教室の施設確保が必要。(イ)保育の質を維持向上する未来像が求められ、この2年間で抜本的対策を進める必要がある。

教育長 (ウ)シェアスクールの活用は避けられない課題で

市民まつりについて一人暮らし高齢者対策

五十嵐京子 (自民党・信頼)

①来年度以降の市民まつりについて、9月議会での決議を受けての見解と検討状況を問う。(ア)旧市民まつり一般部門出展団体等への現状報告と意見聴取は。(イ)新しいまつりの在り方を検討する会議体の設置は。(ウ)つなぎ事業の方針と今後の在り方の方向性を今年度中に議会に示す予定は。

部長 (ア)既に文書を発送、対面での説明会開催も予定。(イ)市が示した3つの方針を実現するには異なる会議体が必要。(ウ)検討の進捗は適宜、議会へ報告する。

②報道された2050年の将来推計で、東京都は高齢世帯の半分以上が一人暮らし高齢者になると予想。一人暮らしで外からの刺激が少なくすると認知症に気が付くのが遅れるなどの可能性もあり、積極的に外に出ない方も気軽に外に出る場所づくりが必要では。昨年開所した本町の特養「けやきの杜」の地域交流スペースのように世代交流が気軽にできる場所をこれからも作って行く必要があるのでは。

部長 「けやきの杜」では、認知症カフェと子ども食堂を実施。地域資源のマッチングを図りながら居場所を整備する必要がある。その他、「聞き書き」活動、ふるさと納税の返礼品について質問しました。

大型家電の回収策を北大通りの安全対策

小林正樹 (公明党)

①家電4品目(大型テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)の処分が苦慮している方が多い。小金井市でも事業者と協定を結ばないか。

部長 市民の利便性に加え、リサイクルの課題解消にもつながる。前向きに検討したい。

②北大通りは道幅も狭く、車道を走る自転車も危険で、歩道では自転車が行き交う危険な状況。歩行者が危険である。(ア)車道の整備は。(イ)植栽を見直すなど歩道の整備は。(ウ)自転車を利用する高齢者のトラブルを防ぐ、自転車の用高齢者マークの検討を。

部長 (ア)自転車マークの検討を

歩き疲れた時に休める場所をつくらう!

清水がく (街の仲間たち)

地域を回っていると、「街中に少しの時間だけでもいいから休めるベンチがある」と助かる。「歩いて買い物に行く時に休憩しながらではないと疲れてしまう」というお声をよく聞く。安心して外出ができる、安心して健康づくりができるよう、目指して行くために、誰しも必ず訪れる老年期を迎え、小金井市が高齢者にも優しく、誰もが暮らしやすい街になることを切に願う。市が考えている今後のベンチ設置方針について伺う。

部長 ベンチ設置については市で設置可能な場所には設置していきたい。

取組もいいのではないかと。今、私が質問に立っている間にも、市内では電柱やガードパイプにつかまって休んでいる高齢者がいらつしやるのではないかと、疲れるから外に出なくなる方がいらつしやるかもしれない。つながりがある街、つながりをつくれる街、小金井を

子どもたちが未来を生きる力を育む環境整備を



鈴木成夫 (みらい)

①(仮)教育支援センター設置による効果とは。

②地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

③学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

④地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑤学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑥地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑦学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑧地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑨学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑩地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑪学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑫地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑬学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑭地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑮学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑯地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

介護支援ボランティアポイント事業の拡充を



渡辺ふき子 (公明党)

①社会参加と地域貢献により、高齢者自身の健康維持や介護予防にもつながる。

②登録者の募集と活動状況について。(イ)ポイントを活用して8千円の買い物ができる。更なる周知や情報提供を。(ウ)さらポイントを活用して生き生きボラや国保健康幸チヤレンジ、省エネチヤレンジ事業にも活用されている。

③さらポイントの取扱店を増やすなど、市が事業者を応援しないか。

④現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑤現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑥現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑦現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑧現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑨現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑩現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑪現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑫現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑬現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

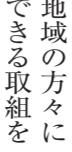
⑭現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑮現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑯現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑰現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

地域のためになるマンションの防災力向上を



沖浦あつし (みらい)

①(仮)教育支援センター設置による効果とは。

②地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

③学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

④地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑤学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑥地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑦学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑧地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑨学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑩地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑪学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑫地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑬学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑭地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

⑮学校と地域連携の核となるコミュニティ・スクール

⑯地域と学校が連携して防災教育を進めないか。

小金井市におけるアスベスト対策について



古畑俊男 (子どもの権利)

①社会参加と地域貢献により、高齢者自身の健康維持や介護予防にもつながる。

②登録者の募集と活動状況について。(イ)ポイントを活用して8千円の買い物ができる。更なる周知や情報提供を。(ウ)さらポイントを活用して生き生きボラや国保健康幸チヤレンジ、省エネチヤレンジ事業にも活用されている。

③さらポイントの取扱店を増やすなど、市が事業者を応援しないか。

④現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑤現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑥現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑦現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑧現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑨現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑩現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑪現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑫現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑬現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

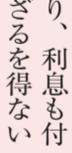
⑭現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑮現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑯現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

⑰現在の登録人数は29人で男性は56人。趣味をいかした囲碁や将棋、歌や体操などを介護事業所で実施。(イ)ボランティア制度

学生・若者への支援の充実を



たけふ久貴 (日本共産党)

①現在、日本では、多くの学生が金銭的に困難な状況に追い込まれている。学業や進学を諦めざるを得ないという声も多く上がっている。小金井市には未来と希望のある学生に寄り添った政治を求めたいと思う。

②以前から日本共産党は条例提案をするなどで求めているが、市の奨学金制度について、特に大学生において応募しても落選し、受けたくても受けられない方が発生している。予算を増やして給付人数や給付金額を増やしたり拡充をするべき。

③高過ぎる日本の大学の学費を捻出するためにやむなく奨学金を借り、利息も付しながら返さざるを得ない状況の学生・若者へ、奨学金返済支援を行うべき。

④同様の理由で、学生の負担軽減として家賃助成を行うべき。

⑤(ア)制度の拡充を図るよりも応募状況等に注視しつつ制度を継続して実施していく。(イ)優先して取り組むべき施策を行政全体の中で考えたい。(ウ)住居確保給付金の周知と制度の適切な運営に取り組みたい。

⑥その他、高齢者生活支援と介護の充実、生活道路の維持補修の迅速な対応について質問しました。

⑦(ア)制度の拡充を図るよりも応募状況等に注視しつつ制度を継続して実施していく。(イ)優先して取り組むべき施策を行政全体の中で考えたい。(ウ)住居確保給付金の周知と制度の適切な運営に取り組みたい。

⑧その他、高齢者生活支援と介護の充実、生活道路の維持補修の迅速な対応について質問しました。

⑨(ア)制度の拡充を図るよりも応募状況等に注視しつつ制度を継続して実施していく。(イ)優先して取り組むべき施策を行政全体の中で考えたい。(ウ)住居確保給付金の周知と制度の適切な運営に取り組みたい。

⑩その他、高齢者生活支援と介護の充実、生活道路の維持補修の迅速な対応について質問しました。

⑪(ア)制度の拡充を図るよりも応募状況等に注視しつつ制度を継続して実施していく。(イ)優先して取り組むべき施策を行政全体の中で考えたい。(ウ)住居確保給付金の周知と制度の適切な運営に取り組みたい。

⑫その他、高齢者生活支援と介護の充実、生活道路の維持補修の迅速な対応について質問しました。

⑬(ア)制度の拡充を図るよりも応募状況等に注視しつつ制度を継続して実施していく。(イ)優先して取り組むべき施策を行政全体の中で考えたい。(ウ)住居確保給付金の周知と制度の適切な運営に取り組みたい。

⑭その他、高齢者生活支援と介護の充実、生活道路の維持補修の迅速な対応について質問しました。

⑮(ア)制度の拡充を図るよりも応募状況等に注視しつつ制度を継続して実施していく。(イ)優先して取り組むべき施策を行政全体の中で考えたい。(ウ)住居確保給付金の周知と制度の適切な運営に取り組みたい。

口腔ケアの更なる推進と受動喫煙防止対策を



遠藤百合子 (自民党・信頼)

①歯科医療・口腔ケアの充実が全体の健康に大きく関与していることが明らかになった今、歯科医療・口腔ケアの更なる充実が求められている。歯科の主治医のいるの方が長生きである。歯と口腔の健康づくりが健康寿命の延伸につながり、医療費削減の効果がある。(ア)定期的な無料の歯科検診を。(イ)高齢者向けの歯科口腔ケア支援の周知を。

②(ア)無料検診を実施していない児童への検診は国や他市の情報収集に努めていく。20歳から80歳までの5歳刻みの年齢の方への検診のほか、65歳以上の全

年齢層への検診について、拡充に向けて検討していく。(イ)市報・市ホームページの他にお元氣サミットなど、集いの場でも周知している。

③(ア)公団の遊具の修繕について問う。日本共産党が取り組んだ「市民アンケート」で「公園の遊具の修繕が1年以上放置されている」との声が寄せられた。(ア)現状はどうか。(イ)予算の増額など迅速な予算措置を求める。

④(ア)迅速な対応に込められない公園もあった。(イ)指定管理者と連携し、適切かつ迅速に市民要望に込めていきたい。

⑤(ア)児童保育所の大規模化解消について問う。(ア)来年度の入所状況など大規模化の現状をどう考えているのか。(イ)みどり第3児童保育所は、緑中学校に設置でき

るようになった。その後の暫定解消の対策を行うべきである。(ウ)長期的対策として、施設を新たに建設するなど抜本的対策が必要ではないか。(エ)放課後子ども教室との連携や教室の利用を教育委員会と協議・連携し、対策を講じることを求める。

⑥(ア)大体去年と同じだが上回る所もある。利用者数は7割に増えてくる。(イ)近隣施設などに当たり、関係機関と相談して抜本的対策を考える。(ウ)財政的にハードルが高い。(エ)課題の洗い出しや実現可能な方策などを検討していく。

⑦(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑧(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑨(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑩(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑪(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

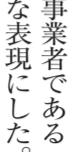
⑫(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑬(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑭(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑮(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

はけと野川をこわす道路はいらない



坂井えつ子 (緑・つながる)

①小金井市は優先整備2路線の独自検証を行っているが、東京都は3・4・11号線のオープンハウスを開催した。(ア)東京都が事前説明に来た際、市長は何と発言したのか。(イ)11月11日、市長が東京都に出した要請文書では「検証中なので、特段のご配慮をお願いしませぬ」としているのはなぜか。「事業化は待つていただきたい」と提出するべきだ。

②(ア)市長は「3・4・11号線等の必要性について検証中であり3月までには判断する。それまでは事業化を待つていただきたい」と発言した。(イ)市長名の公

文書であり、事業者である都に対し丁寧な表現にした。

③東京都では「新たな都市計画道路の整備方針」の検討に着手している。(ア)小金井市も会議に参加しているが、市の意向は発言できたのか。(イ)既に建設局に伝えたように、都市整備局にも市の意向を伝えるべきだ。

④(ア)個別路線の協議は別に行うものと考ええる。

⑤(イ)個別路線の協議の際、市の意向を伝えたい。

⑥市長が2路線に対し総合的判断を下したら、第11号線等の建設環境委員会にて示し、また市民に対して説明していただきたい。

⑦市長 市議会でも報告したい。

⑧市長 市議会でも報告したい。

⑨市長 市議会でも報告したい。

⑩市長 市議会でも報告したい。

⑪市長 市議会でも報告したい。

⑫市長 市議会でも報告したい。

⑬市長 市議会でも報告したい。

⑭市長 市議会でも報告したい。

⑮市長 市議会でも報告したい。

学童保育所の大規模化解消へ抜本的対策を求め



水上洋志 (日本共産党)

①公園の遊具の修繕について問う。日本共産党が取り組んだ「市民アンケート」で「公園の遊具の修繕が1年以上放置されている」との声が寄せられた。(ア)現状はどうか。(イ)予算の増額など迅速な予算措置を求める。

②(ア)迅速な対応に込められない公園もあった。(イ)指定管理者と連携し、適切かつ迅速に市民要望に込めていきたい。

③(ア)児童保育所の大規模化解消について問う。(ア)来年度の入所状況など大規模化の現状をどう考えているのか。(イ)みどり第3児童保育所は、緑中学校に設置でき

るようになった。その後の暫定解消の対策を行うべきである。(ウ)長期的対策として、施設を新たに建設するなど抜本的対策が必要ではないか。(エ)放課後子ども教室との連携や教室の利用を教育委員会と協議・連携し、対策を講じることを求める。

④(ア)大体去年と同じだが上回る所もある。利用者数は7割に増えてくる。(イ)近隣施設などに当たり、関係機関と相談して抜本的対策を考える。(ウ)財政的にハードルが高い。(エ)課題の洗い出しや実現可能な方策などを検討していく。

⑤(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑥(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑦(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑧(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑨(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑩(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑪(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑫(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑬(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑭(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

⑮(ア)魅力ある梶野通りの整備を求めました。

コロナワクチンの実態を直視し対策すべき



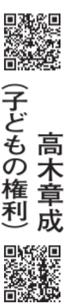
齋藤康夫 (参政党)

mRNAワクチンによる健康被害救済制度で認められた死者は800人を超えた。多くの大学教授、専門家、医師が所属する「有志医師の会」ではmRNAワクチンに対して警鐘を鳴らしている。また、国会内では川田龍平議員が「子どもへのワクチン接種と新型コロナウイルス感染症を併発させる超党派議員連盟」を立ち上げ、多くの国会議員が参加している。担当部局が以前に提出した資料のグラフを見ると「ワクチン接種者数が増えると、超過死亡数が増える」という現象が起きていく。これを偶然の一致と考えるには無理がある。(ア)この実態を直視すれば、ワクチン接種数と超過死亡数に何らかの関連性があると思われるべきではないか。(イ)泉大津市では、10月からのワクチン接種に対する自治体補助を行っていない。なぜなら市長が「史上最大の被害被害が起きている懸念がある」と判断しているからである。小金井市ではどのような対応をするのか。

部長 (ア)アドバイザーボードによる分析は感染者数のピークに死亡者数のピークがあるので、感染者拡大が原因とされている。(イ)ワクチン接種のエビデンスを踏まえると今後も補助は続ける。



障がいのある人も共に働きたい 小金井市を



高木章成 (子どもの権利)

私は大学院で東京都に関する修士論文を執筆した。子どもの権利と並んで私のライフワーク。(ア)市長は選挙で「障がい者の就業支援の強化」を公約したが、取組、成果と課題は。(イ)障がい者の就業支援の強化は官民ともに取り組むべきか。

市長 (ア)障がいのある人の社会活動や就業に向けて力を入れる。(イ)行政だけでなく企業の理解も必要。

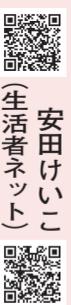
部長 (ア)本市における民間企業の障がい者就業の把握の状況は。(イ)就業移行支援・就業継続支援の課題は。(ウ)本市では障がいのある議員の介助費用の一部が議会費で賄われ、画期的であるため敷えん化を求めるが、市職員への障がい者の任用状況と課題、合理的配慮の取組は。(エ)国による雇用施策との連携による重度障害者等就業支援特別事業の検討状況や、具体的な問合せは。

部長 (ア)把握できていない。(イ)課題は事業者数の不足。(ウ)雇用率は3・16%で法定雇用率を上回っている。障がいのある職員と話し合い適切に対応。ジョブコーチの運用事例はない。(エ)具体的な準備に至っていない。3件の問合せがあり、引き続き検討する。

■その他、市長の政治姿勢について質問しました。



二枚橋の通過車両問題と小金井3・4・11号線



安田けいいち (生活者ネット)

量の増加の懸念がある。(ウ)ならば丘住宅地開発後、当時の二枚橋プールや野川公園等へ結ぶ道路として計画された。歩行者専用道路(二枚橋の坂の通り)の通過交通の抑制を整備の効果として。(ア)市として市道573号線の通過車両問題をどう把握しているか。(イ)すれ違いのための待避所を設置してどうか。(ウ)線路の東側にある幅員6mの市道477号線が延伸された経緯と、車両通行止め理由は。市道573号線と相互通行にすれば交通がスムーズになるのではないか。

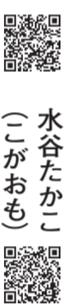
部長 (ア)安全確保のため交通誘導員を配置している。(イ)用地買収等の課題や交通



車両通行止めとなっている市道437号線



基金運用で歳入アップ 児童保育の大規模化対応



水谷たかこ (こがも)

水谷たかこ (こがも) はできないか。(イ)夏期休業中のみの児童利用の調査結果は。(ウ)今後の方向性は。

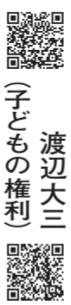
部長 (ア)現時点では子育て支援施設が入る予定はないが、引き続き協議したい。(イ)児童利用者の約3割がサマー児童を利用したいとの意向が有資格者の確保や採算性から課題が大きい。

課長 (ア)本市の基金総額は約132億円、基金運用利子と運用収入は約69万円だ。

市長 (イ)他市の状況を研究し、前に踏み出したい。(ア)市民営児童保育所を誘致しようとしても、物件が少なく難しい。これから進む武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業で、テナントに子育て支援施設が入りやすい働きかけ



庁舎等建設工事費の大幅増の責任の所在を問う



渡辺大三 (子どもの権利)

庁舎等建設問題の責任の所在について。(イ)西岡前市長の公約、その後の迷走。(ウ)西岡前市長の突然の辞職で不発に終わった「大胆な見直し」。(ウ)現行案ではコストダウン不可能だと判明しただけのナンチャッテ検証。(ウ)コストダウンへのラストチャンスとも言える住民投票条例案の否決。(ウ)「15億円収まる」一転「130億円超え」に。当初、西岡市長候補が言っていた金額(工事費)は67億円。現在の案の発端のところでは79億円。昨年5月に15億円に跳ね上がり、この10月には132億円にまで跳ね上がった。

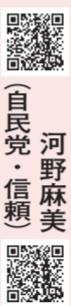
設計に関しては西岡前市長から引き継いでいるが、金額に関しては全く「別物」になっている。誰かには責任があるし、一人ひとりの責任の濃淡もある。見解は。

部長 庁舎建設には、多くの方々が関わり、多くの時間をかけて進めてきた結果が今に至っているという認識。責任の所在を絞り込むのは非常に難しい。

■その他、衆院選の投票所入場整理券の配達遅れについて、多摩地域の中でワースト1位の10月22日にならないと配達が始まらなかった件、結果として多摩26市で期日前投票率が最低であった件を指摘。再発防止を求めました。



地場野菜の活用 高齢者肺炎予防 乳幼児健診



河野麻美 (自民党・信頼)

学校給食への地場野菜の更なる活用のため野菜保管庫の整備や農家の作付けベースでの献立作成が可能となるよう栄養士と農家の意見交換会の実施を求める。

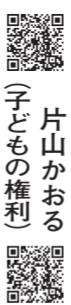
部長 安定的な供給や新たな野菜を取り入れるきっかけになるため研究する。

部長 肺炎死亡者の98%が65歳以上の高齢者であり、超高齢化社会を迎えるに当たり健康寿命延伸の施策展開が必要だ。(ア)肺炎球菌ワクチンの2回目接種を助成しないか。(イ)本年RSウイルスワクチンが承認された。費用助成等検討しないか。

部長 (ア)まずは周知徹底



人と動物が共生できる 潤いある社会の実現を



片山かおる (子どもの権利)

片山かおる (子どもの権利) 動物との暮らしや触れ合いは生活を豊かにし生きるとなる。互いに支え合う主体的な関係となることのできる。動物福祉(アニマルウェルフェア)の認識は。(イ)ペット飼育が認知症発症の確率を低下させる調査の把握は。(ウ)動物と暮らすのサポートに取り組みまないか。

部長 (ア)動物福祉とは動物が精神的・肉体的に充分健康で幸福で環境と調和していること。(イ)把握している。(ウ)研究課題である。

部長 (ア)ひきこもり支援の取組について。(イ)実態調査をしないか。(ウ)ひきこもり状態の人への集団健診の拡大を。(エ)都の支援事業への取組状況は。

部長 (ア)他機関との連携推進、当事者の居場所提供、社会参加への準備支援、家族の集う場所の開催など。(イ)他市の調査結果を当てはめると、ひきこもり状態の人数は千200人から千600人と推定。(ウ)対象要件緩和は研究。(エ)都の事業周知、ひきこもりサポートネットによる相談支援、各種研修への参加推進など。

■その他、子どもオンブズパーソンによる権利学習と独立機関としての意向を付度することはないか、3人目のオンブズパーソンの必要性を確認しました。



避難所の備蓄品の拡充 など防災対策の強化を



森戸よう子 (日本共産党)

森戸よう子 (日本共産党) 防災対策について(ア)2次避難所は福祉避難所であり、子育て世代、障がい者や介護が必要な高齢者が避難するが、おむつや哺乳瓶、毛布、水等の備蓄はゼロ。備蓄をすべきではないか。(イ)生理用品は多量類を備蓄しないか。(ウ)耐震補強工事助成について、改正前耐震住宅も対象にしないか。

部長 (ア)備蓄の在り方については、引き続き考えていきたい。(イ)生理用品は今後検討していきたい。(ウ)国、都、他自治体の動向を注視し課題として考えている。

市長 現在、防災の観点、抜け道の問題や広域ネットワークの必要性も含め、検証を実施している。



意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

○：賛成 ×：反対 △：退席 ー：欠席(体調不良) 議：議長(原則、採決には加わらず) 副：副議長(議長が体調不良のため、副議長が議長の職務を代行)

自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街													
河野麻美	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく

件名	要旨(提案議員が作成)	自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	議決結果
多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書	多様化する民意の集約と反映のため、安心して議員に立候補し、議員活動を続けられるよう、①主権者教育の推進、②会社員が立候補しやすい環境整備と厚生年金加入、③出産・育児や介護等との両立支援やハラメントの防止等、環境整備と支援を国に求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都に対して心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書	障がい者の医療費は命に直結する問題であり、早急な拡充が必要である。東京都に対し、心身障害者医療費助成制度について、障がいの程度にかかわらず対象範囲を拡大すること、また、少なくとも、知的障がい者の医療費助成の対象を中・軽度に拡大することを求める。	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
原発新增設費用を国民から徴収する制度を導入しないことを求める意見書	巨額の建設費を含む原発のコストを、稼働して発電する前から電気料金に上乗せして国民負担とする新たな制度を導入すると、家庭や企業が払う電気代が増え日本経済の停滞は更に深刻化する。原発新規建設のための新たな資金徴収制度を導入しないことを求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
103万円の壁と呼ばれる課税限度額の見直しに関する意見書	「103万円の壁」の見直しに当たっては、十分に地方財政の財源の補填を行うとともに、その財源確保に当たっては新たな国民負担増にならないこと、また、社会保険料の在り方を是正することを強く求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
マイナンバー制度見直しに関する意見書	国や地方自治体で使用するサーバーの開発・運用については国内の企業に委託すること、厳格に発行・管理を行い、個人情報漏洩やなりすましの防止を徹底すること、紐付けられている自分の情報については全ての履歴を確認できる仕組みを構築することを求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(議長裁決)
刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書	刑事訴訟法には、冤罪被害者の救済を目的とした再審制度の規定があるが、再審請求手続の審理に関する規定がほとんどないため、適正さが担保されず公平性が損なわれている。冤罪は深刻な人権侵害であり、決して許されない。再審手続の整備等を求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市独自の検証結果が出るまで、優先整備2路線の事業化に向けた手続を行わないことを求める意見書	建設局には、市独自の検証が終わり総合的判断が定まるまで、事業化に向けた手続を行わないことを求める。都市整備局では新たな「都市計画道路の整備方針」を検討しているが、これまでに議会が可決した計画見直し等を求めた11件の意見書の尊重を求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
企業・団体献金の廃止を求める意見書	企業・団体献金の廃止は、今や多くの野党の要求となっている。世論調査でも「禁止するべきだ」が67%と「禁止の必要はない」の26%を大きく上回った。企業・団体献金は賄賂性が指摘されており、政治のゆがみを正すため企業・団体献金の禁止を求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
新庁舎等建設について、市民要望に応え、抜本的な建築コスト削減を図るべく、抜本的な見直しを求める決議	市民要望に背を向け、現行案にかくも法外な建築費を投入することは、小金井市100年の大計を誤る暴挙である。長年の小金井市の課題である新庁舎等の建設については、見直し案の指摘も参考に抜本的な見直しを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	原案可決

※可否同数の場合、議長が可否を決定します。

【党派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 お：小金井をおもしろくする会
ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井 街：街の仲間たち

名勝小金井(サクラ) 100周年写真コンテストで議長賞が決定しました

小金井桜部門 議長賞
大森真人さん「静かな時」
まちの桜部門 議長賞
後藤五月さん「弁天橋の桜絶景」



名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念式典(12月8日)
場所：小金井 宮地楽器ホール(市民交流センター)

選挙管理委員・選挙管理委員補充員を選挙

地方自治法の規定により、選挙管理委員及び選挙管理委員補充員については市議会選挙することとなっています。

選挙管理委員4人及び同補充員の選挙を12月19日に行いました。

選挙管理委員は池田祥子氏、久保治雄氏、齋藤裕人氏、篠原熙氏が当選しました。

また、同補充員については、第1順位として井塚忍男氏、第2順位として宮川俊男氏、第3順位として伊藤謙一郎氏、第4順位として眞部一義氏が当選しました。

多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書

反対討論(要旨)
水上演志(日本共産党)
議員活動の環境を整えるための取組は大切である。しかし、「厚生年金へ地方議会議員が加入できる法整備を図ること」については賛同できない。厚生年金への加入は、自治体が年金保険料の半分を負担することになる。国民誰もが、安心して暮らせる年金制度を確立する国民的議論の中で検討されるべきであり、単に議員の年金のみの議論で済ませるものではない。「国民には給付カット、地方議員は

反対討論(要旨)
坂井えつ子(緑・つながる)
断固反対する。物価高の今日、税金の使い方が適切か監視する責任がある地方議会議員自らの提案は、理解困難だ。近年の小金井市議選では立候補者数が定数を上回り続けているにも関わらず、議員のなり手不足が深刻化している点も疑問だ。医療・介護、物流業界なども人手不足の中、地方議員だけに特別に対策を講じるには根拠不足だ。地方議員の厚生年金加入で、全国で要する年間約160億円は、原油価格高騰や物価高騰の対策に充てるべきだ。

お手盛り」との批判は避け難い。よって反対する。

引き続き審査する案件

議会運営委員会

1月21日(火)午後2時
▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査 ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査 ③議会運営に関する議長の諮問事項について

厚生文教委員会

▶障害児短期入所施設の新設と既設施設の支援拡大を求める陳情書 ▶障害福祉計画及び介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画について ▶保育政策の課題について

建設環境委員会

▶東小金井駅北口の駐輪環境(通勤通学/お買い物等)の向上を求める陳情書 ▶駅前広場、公園、広場、新庁舎外構などへの冷却ミスト(クールスポット)の設置を求める陳情書 ▶循環型社会の形成及び温室効果ガス削減に関する調査 ▶地域公共交通に関する調査

総務企画委員会

▶男女平等基本条例の理念を尊重し、小金井市の事業や後援を適切に行うことを求める陳情書 ▶(仮称)小金井さくらの日の制定を求める陳情書 ▶消防団員の確保を図るため処遇改善を求める陳情書 ▶ふるさと納税返礼品から「特定外来生物被害防止基本方針」に収録のある生物種の排除を求める陳情書 ▶市の顧問弁護士の人数、報酬に関する陳情書 ▶小金井市商工会補助金交付要綱に関する陳情書 ▶指定管理者及び開発道路の疑義解明を求める陳情書 ▶ふるさと納税返礼品指定体制の改善を求める陳情書

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

▶現設計での建築確認申請にストップをかけた市議の内、現設計で建てようとしている方々の氏名を明らかにすることを求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する見直し案の設計意図の伝達等の機会を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について市長が行った反対の意見等に関する陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)

新福祉会館の建設に関する現行案の構造的差別を無視した計画の推進の再考を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する現行案と見直し案に関する考えの根拠を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行った反対討論等に関する陳情書(同一表題で内容が異なるものが他8件) ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する財政の規律性の保持について考えを問う陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関して現行案と見直し案に対する現在の議員の考え方の確認を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行ったご発言等に関する陳情書 ▶庁舎等建設及び公共施設マネジメントの推進に係る諸問題の調査

行財政改革推進調査特別委員会

▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

「第2回市議会震災避難訓練」を実施しました

訓練の目的：巨大地震が発災した際、落ち着いて全議員が安全な場所への避難を行うこと

令和6年11月29日午前10時より小金井消防署指導の下、3部構成で訓練を実施しました。

第1部：布担架搬送体験訓練

避難行動の際、ケガ人等を搬送するために布担架を使い搬送する訓練を行いました。



広げる前の「布担架」常備場所も確認



消防署による広げ方と使い方指導



搬送者が持ち手を握り肩ストラップを掛け



掛け声で一気に持ち上げ安全な場所へ避難

訓練を終えて一言：「重さの負担はなかった」「移動も問題なくできた」「布担架は事務局入口の左手に常備されていることが認識できた」

第2部：震災避難訓練

本会議中に地震の発災を想定し、全員が駐車場まで無事避難を目指した訓練を行いました。

一人ひとりが考え行動することを目的に、ハプニング要素を訓練に盛り込みました。



3階踊り場で要救助者に遭遇



急きょ布担架チームを結成し搬送



1階で搬送を交代



無事に駐車場へ到着

訓練を終えて一言：「事前の布担架訓練が役に立った」「布担架のメリットを見出せた」「ハプニング要素の盛り込みは良かった」

第3部：水消火器訓練

消防署の指導を受け訓練を行いました。



訓練を終えて一言：「定期的な訓練が必要だと思った」



講評：小金井消防署より

- ①ハプニング要素に対しては対応ができていた。
- ②周りに対する配慮や注意する心がけについては、「ケガをしている人は居るか？」や「みんな大丈夫か？」等の周囲への自発的な声かけや動作があれば良い。
- ③避難行動において、要救助者への対応は議会としてあらかじめ議論し、取り組み方を決めておくことが望ましい。
- ④普段から担架の場所を確認しておくといい。

全議員に「タブレット端末」を貸与 運用を開始

小金井市議会は令和6年第4回定例会より以下を目的として、全議員にタブレットを端末を貸与しました。

- ①議会運営の更なる効率化
- ②議会・議員活動のより一層の活性化
- ③将来的なペーパーレス化



文書管理を行うクラウド上の電子本棚



これまでの経過	
2017年9月	議会改革での議論が始まる
2022年4月	議会運営委員会で3つの先進市議会を視察
5月	議会改革での本格的な議論を開始
10月	「小金井市議会タブレット端末導入・検討プロジェクトチーム」が発足
	(会議8回)
2023年3月	最終報告を議会運営委員会へ報告
9月	市議会として予算要望を決定
10月	「小金井市議会タブレット端末導入・準備検討プロジェクトチーム」が発足
	(会議7回)
2024年9月	最終報告を議会運営委員会へ報告
11月	タブレット貸与・操作研修
11月	令和6年第4回定例会より運用を開始